

特別分科会 第1分散会 教育課題Ⅰ-1

【研究課題】地域の特色や願いを生かす創意ある学校づくり

【研究の視点】地域の特色や願いを生かす、コミュニティ・スクールの推進

〈研究発表〉地域あつての学校、学校あつての地域

－小規模校におけるコミュニティ・スクールの推進－

高知県香南市立岸本小学校（前南国市立奈路小学校） 濱口 真人

〈発表概要〉

奈路小では、「地域あつての学校、学校あつての地域」という20年来の合言葉のもと、「学校は、地域の灯火、地域から学校の灯は消されん。」という熱い思いが、脈々と地域の人々によって生まれ、受け継がれてきた。このような経緯を経て、現在の奈路は、すでに実体としてコミュニティ・スクールが存在するといっても過言ではない程の地域力・教育力を持っている。その力とコミュニティ・スクールという新しいタイプの学校づくりとの融合をこれまでの取組を基盤に無理せず図ってきた。そして、「みんながかかわり、みんなで創る学校」をめざして、平成19年度より南国市教育委員会より指定を受けて奈路コミュニティ・スクールがスタートした。

「地域あつての学校、学校あつての地域」

- ①奈路の地域力・教育力
- ②奈路小を支える教育活動
- ③教職員及び教育委員会の姿勢

〈校長としての取組の主なもの〉

子どもたちにたくさんの大人がかかわってもらう中で、児童、保護者、地域の人々に信頼され、元気と活力を発信できる「地域の学校」づくりをめざす。そして、「子どもたちが心から来てよかったといえる学校」「保護者も通わせて安心できる学校」づくりに全力で取り組む。

- ①コミュニティ・スクールについて周知・徹底（地域・保護者・教職員）の取組
- ②地域・保護者の教育力を高める取組
- ③教職員の意識を高める取組